

「安心して住み続けられる公共交通ネットワークを目指して」

「郡上市地域公共交通網形成計画」を策定しました

◆計画期間：平成30年度～平成34年度（5年間）



◆地域公共交通網形成計画とは

郡上市では、平成23年3月に「郡上市地域公共交通総合連携計画」（以下「連携計画」という。）を策定し、様々な取り組みを実施してきましたが、平成29年度で計画期間に達したことから、連携計画の基本的な方針を踏襲しつつ、残された課題や新たな課題を市民の皆さんと共に考え、持続可能な地域公共交通網を形成するため、新たに「郡上

市地域公共交通網形成計画」を策定しました。

この計画は、「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものです。策定にあたっては、郡上市地域公共交通会議を中心に、各地域での公共交通懇談会の開催や、市民アンケートなどを実施し、市民の皆さんの公共交通に対するご意見の収集や、調査、分析を行い、計画の内容をまとめました。

◆計画の基本となる方針

地域公共交通網形成計画の基本方針は、連携計画の基本方針を踏まえながら、高齢者等の視点からの施策展開を加え、次の4つを基本方針としました。これらの方針に掲げる諸施策を展開し、安心して住み続けられる公共交通ネットワークの構築を目指します。

《基本方針1》

「地域の実情に適した公共交通の確保」

安心して住み続けられるまちづくりを目指して、公共交通の幹線・支線を「網（ネットワーク）」として見直し、利用しやすい運行形態や、交通空白地の解消を図り、地域の実情にあった公共交通を確保します。また、高校生の安心安全な通学の足として、運行ダイヤの見直しなどによるさらなる利便性の向上を図ります。

《基本方針2》

「高齢者等が安心して暮らせる公共交通の充実」

高齢者などの日常生活を支えるため、バス路線や運行ダイヤの見直し、バス車両のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン

タクシーの導入助成など、利用しやすい交通を目指します。また、高齢者の介護予防を目的とした「おでかけ」を支援するため、公共交通と福祉が連携して移動手段の充実を図ります。

《基本方針3》

「観光需要に対応した公共交通の充実」

公共交通を活用した移動方法を、観光客へ分かりやすく情報を提供するなど、観光地を楽しく巡っていただけるよう環境整備を行います。また、市外からの幹線交通（高速バスや長良川鉄道）と市街地・観光地を結ぶ交通の確保に取り組みます。

《基本方針4》

「持続可能な公共交通の推進」

持続可能な公共交通を目指し、引き続き長良川鉄道と路線バスの連絡定期や共通定期、長良川鉄道のシルバークレジット制度などの周知に努めるとともに、路線バスなどによる通学利用を推進し、効率的な運行を図ります。また、近年、深刻な問題となっている運転手不足に対しては、バス・タクシー事業者への運転免許取得補助制度を創設し、公共交通全体の基盤の強化に取り

今後の取り組み・施策事業

- ①公共交通路線の見直し・改善
 - 幹線・支線の路線網の維持・見直し
 - 道路網の変化による新たな需要に応じた交通網の構築
 - 交通拠点での乗り継ぎの向上（鉄道を含む）
- ②地域の実情に合わせた運行形態の見直し
 - 運行実態と利用ニーズに合わせた運行ダイヤの見直し
 - 定時定路線バスのデマンド化の検討
- ③交通空白地域の解消
 - 既存の運行ルート等を見直し
 - 地域団体等による移動手段の導入
- ④地域住民との協働による取組
 - 自治会、各種団体等による利用の促進
 - 地域の懇談会等での地域ニーズの把握と協議
- ⑤高齢者等が利用しやすい環境整備
 - 高齢者等の日常生活のための路線の維持
 - 【福祉計画との連携】福祉有償運送・タクシーとの連携
 - バス車両のバリアフリー化
- ⑥わかりやすい公共交通の実現
 - わかりやすい路線表示等の実施
 - 高齢者等への乗り方などの情報提供
- ⑦観光需要への対応・掘り起こし
 - 幹線からの2次交通の確保
 - 観光客への情報発信
 - タクシーの利用促進
- ⑧公共交通の利用促進
 - 高校新入学生の試乗体験の継続実施
 - 乗車体験イベントの継続実施
 - 免許返納者への利用促進の継続実施
 - 長良川鉄道の利用促進
 - 地域の商店等と連携した利用促進
- ⑨公共交通の運行の効率化
 - 運行経費の適正化
 - バス車両の小型化
 - 運行体制の強化
 - 路線バス等での通学利用の促進



▲地域懇談会の様子



▲車椅子でも乗車可能なユニバーサルデザインタクシー



▲高校入学説明会での利用促進

基本方針

1. 地域の実情に適した公共交通の確保
2. 高齢者等が安心して暮らせる公共交通の充実
3. 観光需要に対応した公共交通の充実
4. 持続可能な公共交通の推進

目指す姿

- 移動の権利を尊重する交通ネットワークの構築
- 市民が安心して生活できる公共交通の構築
- 市民協働による育てる公共交通の構築

全体方針

安心して住み続けられる公共交通ネットワークの構築

《計画の今後について》
 地域公共交通網形成計画は、新たな需要や課題に対応するため、適宜必要な見直しを行うこととしていきます。見直しに際しては、引き続き各地域で公共交通懇談会などを開催し、意見の収集や改善策の検討を行うほか、市の公共交通会議において協議を行い、課題などを解決するための必要な施策について計画に反映していきます。今後とも、市民の皆さんと一緒に、安心して住み続けられるための公共交通を目指してまいりますので、ご協力をお願いいたします。